



杉退教・さくら会 たより

杉並区退職教職員の会(さくら会) 杉並支部HP <http://tokyousosuginami.web.fc2.com>
〒167-0031 杉並区本天沼 1-2-19 都教組杉並支部内 Tel 3399-8719 Fax 3399-3855

ぞうれっしゃ合唱団 杉並・練馬・みなとが力をあわせ

ぞうれっしゃが走って象のインディラが来て70周年！ **ファミリーコンサートを開催**



指揮者に掛川陽子さん(元杉八小) 杉退教の仲間と家族も多数参加して...

11月4日(月・文化の日振り替え)セシオン杉並のホールを満席にぞうれっしゃ合唱団・ファミリーコンサートが開催されました。今年の名古屋の東山動物園に向けてぞうれっしゃが走って70周年。インドからゾウのインディラが上野動物園にやってきて70周年にあたります。

杉並・練馬・みなとの合唱団が力を合わせて合唱構成「ぞうれっしゃがやってきた」をはじめ、6曲を合唱してくれました。

高井戸小学校卒業で、現在各地でライブ活動をしている寺尾沙穂さんのピアノ弾き語り。杉並在住の被爆者、井上惣左衛門さんの広島での被爆体験の話など、多彩なプログラムで行われました。



「再読」することの意味

池田茂都枝(元大宮中)



30年ぶりに『ゲド戦記』の全6巻を読み直しました。メモをとりながらの再読、および再再読です。あの頃には見えていなかった様々のことがわかり「再読」の意味をあらためて思い直しました。

作者ルニグエインの先駆的な考え(例えば主人公ゲドは有色人種であること、男性ばかりの魔法の学院に入門するトンボの勇気や老いたゲドとテールを支えるかつて巫女だったテナーにみる女性の活躍)に目がひられました。そしてなによりもゲドの親友のカラスノエンドウ、それが野の花であり、3月に野川の岸辺で友人が教えてくれて、初めて知った時のうれしさだった！以来私はいつも道の脇の雑草をみながら歩くようになってしまいました。

注1:

『ゲド戦記』は、アーシュラ・K・ルニグウィンによって英語で書かれ、1968年から2001年にかけて出版され

たファンタジー

小説。一部アニメにもなった。

影との戦い こわれた腕環
さいはての島へ 帰還 アース
シーの風 ドラゴンフライ

注2:

カラスノエンドウ(マメ科ソラマメ属) 3月から6月にかけて野原や河川敷などに紅紫色の花が咲いているのが見られます。花は葉腋に1~3個つきます。葉は、8~16枚の小葉からなり、先端の小葉は3分岐した巻きひげに変化しています。この植物にはよくアリが訪れているのが観察できます。同じ様な葉をしたクサフジに比べても比較にならないくらい多くのアリが訪れていて人気の高さがうかがい知れます。



注: 編集係

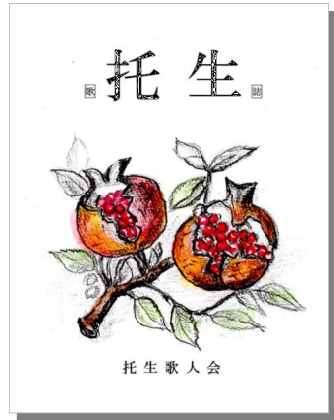
さくら会ハイキングのお誘い・城址散策と飲み放題付食事会

11月24日(日) 8時40分 JR日野駅前 宇津木台行バス停集合
滝山公園・滝山城址散策 - 八王子「かごの屋」で食事会 14時半頃解散

食事代: 4000円 バス代: 560円 申込み11/18まで

*詳しくは同封のハイキング参加申し込み書をご覧ください。
*この日は「横田・オスプレイいらない集会」ですが、私たちは滝山から見える横田の空へ連帯の気持ちを届けます。





名刹の門をくぐれば視界よりすべてを消して桜吹雪けり
 雲海を突き出て光るアルプスの槍が機内へ夏送りくる
 朝霧に頬を濡らして頂きをめざせば背中(せな)に郭公の声
 真っ直ぐな銀杏並木の天と地に二本の道がパラレルに延びる
 空き缶の転がる遠き音冴えて家を揺すぶる真夜の風聞く
 沖繩の苦しみ悲しみ睥睨し我が物顔でオスプレイ飛ぶ
 憂きことも晴れてところが鎮まると妻は摘み来し野花活けおり
 笑顔なりし新任教師が一年で心病み去る無念を思う
 褐色の丘に緑の帯流れアンダルシアは全てがオリーブ
 歌舞に酔いタブラ才出れば三日月がアルハンブラの哀しみ歌う

短歌十首

金丸 和彦(元八成小)

金丸さん参加の

「托生歌人会」歌誌

「托生」から転載させ

ていただきました。

ペンネーム

和久 優一

おそまつ川柳

たか坊主 (高木 堆芳) 元高井戸東小

- ・若者の歩幅に合わせ十五秒
- ・前の人年齢(とし)は同じか歩を早め
- ・歩行者も追い越し禁止にしてみても
- ・カツカツ(勝つ勝つ)とハイヒールの音追ってくる
- ・聞き取れぬ発音悪さのせいにする
- ・映像の顔と年齢気になって
- ・昼時のバス年金者貸し切りか
- ・胸回りメジャーをぐつと引いてみる
- ・ベレー帽似会うもなにもこれ髪
- ・免許証返上したのになぜ夢に
- ・夢に出る運転なぜか軽ばかり
- ・見たくない夢は追試と通信簿
- ・オペの傷接着剤でふさがった
- ・手術中図工の授業思い出し
- ・原発の金は我が社の回り物
- ・「膿を出せ！」言っている人も生みの親
- ・憲法は守らぬ者が変えたがる
- ・年号が変わると増税顔を出し
- ・消費税上がれば助役が菓子くれる

敬老の日



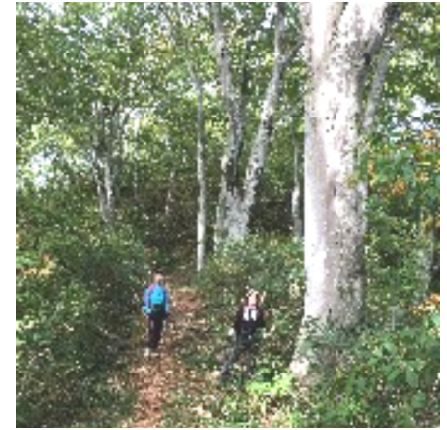
ちよつと一息

さくら会番外編「信越トレイル」を歩く

菅原さんからお誘いを受けて、去る10月10日から2泊3日で、長野県と新潟県が隣り合う「信越トレイル」という山歩きのコースに行ってきました。参加者は結果的に3人となりましたが、それは見事なブナ林の中を、汚れっ気のない空気を吸いながら歩くという何とも贅沢なひと時を過ごしました。

1日目は新幹線「飯山」で下車。迎えに来てくれた宿の車で「茶屋池」へ。そして周辺のブナ林の散策。最初からブナ林の美しさに圧倒されました。

2日目が「信越トレイル」の本番。戸狩温泉スキー場ゲレンデを登り「仏ヶ峰登山口」へ。そこから「鍋倉山」を経て「関田峠」までの尾根歩きです。休憩を挟んで歩くこと7時間。息を切らしながらも、菅原さんの作ってくれたペースに先導されて無事歩き通すことができました。何回も通り過ぎるブ



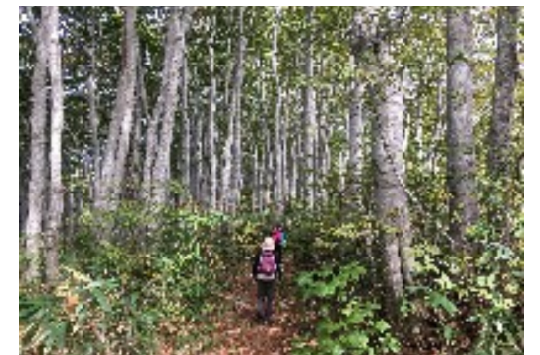
所々にこんな太いブナの木も。厳しい自然の中でよくも成長したもんだと思う。

ナ林。そして、途中の眺望のよいところからは、かすみがかっていましたが前方に日本海、その向こうに島影が。「あれは佐渡よ」と菅原さん。水の美味しさ、宿で用意していただいたお弁当の美味しさはまた格別。本当に言うことありません。そして、ストック。こんなにも助けになるとは思いませんでした。みなさんにもお勧めです。

3日目。大変な被害をもたらした台風19号が迫って来ました。選択肢は



標高1,289mの鍋倉山の頂上。ここで昼食。



見事に尽きる。樹齢100年前後のブナが整然と並んだ美しい林の中を歩く。

3つありましたが、予定はキャンセル。朝食を食べたらすぐチェックアウトし、新幹線と東京の電車が止まる前に帰ることになりました。新幹線の切符も切り替えもスムーズにいき、何と家に着いたのは午前11時半でした。後で北陸新幹線は数日間も全線運休となるのですから、菅原さんの見事な判断、決断のおかげで、3日間の思い出は楽しいことばかりとなり、本当に感謝の思いでいっぱいです。なお、トランプゲームの「大貧民」では、二人掛かりでも一度も菅原さんには勝てませんでした。



宿の食事もおいしかった。シズンは80人も入る食堂は、台風の影響でキャンセルで私達3人だけ。

菅原さんからの伝言です。

「今回は 初秋でしたが、新緑の時もまた魅力です。来年の5月28日(木)～30日(土)。戸狩温泉ペンションメイプルハイム。この日程で参加希望の方がいらっしゃいましたら計画します。東京から新幹線で2時間半です。」

(前山)

トレイル=自然歩道・自然散策ルート

特別報告

この目で見た横田基地

小林 久枝 (元大宮小)

10月28日、「この目で見よう横田基地」のバスツアーに参加しました。天候にも恵まれてバスは立川駅を出発。初めに砂川闘争の現場に行きました。今でも闘争中のように団結小屋があり、週一回水曜日に開けているそうです。あちこちに闘争の跡が残されていて、普通の農民の耕作地の接収ということで幅広い住民が参加したこと、切り崩しに合いながらも学生・労働者を巻き込んだことで伊達判決を勝ち取り、返還されたということでした。

を知りました。その頃「火星の土地を買う」ということがニュースになり、女子高でしたが、運動会の仮装行列で火星の格好をして「火星の土地は売らない」とデモをして地元の新聞に出たこと、砂川闘争を歌った「桑畑」の歌詞を思い出しました。



ちょうど私が高校生の時のことで、友人の姉が砂川でけがをしてきたこと



横田基地では、月曜日だからオスプレイの間近で飛ぶ様子や爆音なども体験できると思って期待して参加しました。ところが前日が基地の行事のためこの日が休みになったと知りました。基地の中では静かな広々としたフェンスの中で、マラソンをしたりゴルフをしたり休日を楽しんでいるようでした。それでもオスプレイの姿を見ることはできました。大型バス一台の大きさと聞いて、こんなものが落ちてきたらどんな事故になるとぞっとします。「しかも、夜の9時過ぎに夜間照明もつけずに突然闇の中から現れ、低空で銃口を下に向けて家の軒をすれすれにかすめて行くんです。明らかに協定違反です」上空を飛んでいく飛行機と比べて「とてもあんなものではない。窓ガ

ラスがびりびりと震え、寝ていた子どもは起きてしまいます。」とは住民の方の話です。

基地の周りに鉄条網が張り巡らされているのは分かっていたのですが、その他に変わった形のコード様なものは巻かれていました。よく見ると、彫刻刀のようなものが5～6センチおきについています。聞くとカミソリ様の鋭利な刃物でつい最近つけられたということです。ゲートには「無断で入るとパンクします」と書いてあります。これも上下する釘のようなものが出ていて一般車が入れないようになっているそうです。

米軍関係者はアメリカから直接ここに入り入国審査も何もいらぬのだそうです。平和委員会の岸本さんが「いつ誰が来て帰っていったのかも日本にはわからないのです。こんな国は米軍基地のある国でも日本だけです」と話していました。今更ながらに日本の置かれている状況に、「もうこれは政府を変えるしかない」と実感させられました。

こばやし ひさえ

2019年 いのち 生命を生みだす母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます

東京母親大会

憲法が生きる社会を -平和・人権・平等-

日時 12月15日(日) 10時～16時(開場9:30)

会場 なかのZEROホール
中野区中野2-9-7 JR中央線、地下鉄東西線「中野駅」南口下車 徒歩7分

10時～オープニング
「ぞうれっしや合唱団」
10時30分 記念講演 ジェンダー
角田由紀子さん 弁護士
午後分科会 三村・高木氏も協力